

常任委員会

総務

活動日誌

- 1月14日 調査 自治振興交付金の手引きについて
甲賀公共職業安定所の移転に伴う市役所駐車場敷地の売り払いの延期について
- 2月19日 調査報告 自治振興交付金の手引きについて
第2次甲賀市多文化共生推進計画（見直し）の素案について
甲賀市まちづくり基本条例の見直し（案）にかかるパブリックコメントの実施結果について
DX推進体制の更なる展開について

所管事務調査

自治振興交付金の手引きについて

自治振興交付金制度は、総務常任委員会の検討結果を踏まえ段階的に見直しが進められています。課題として、理念と運用の乖離、地域づくり計画の形骸化、役員体制の固定化や単年度交代、事務局機能の未成熟、行政との信頼関係不足があげられます。

見直しでは、多様な主体が参画する協議体と複数年体制を前提に、地域づくり計画の必須化、人口割等による算定、地域共生枠の新設、積立制度導入、防災備品上限緩和、事務局経費拡充などを実施。区活動交付金の明確化や定期検証も行い、地域共生社会の実現を目指しています。

Q 自治振興会制度の趣旨や考え方の見える化が必要では。

A これまでの議論やQ&Aの可視化を図るため、ホームページへの掲載などを進める。

Q ホームページでキーワード検索しても、回答が出てこない。交付金の使い方や制度の趣旨を広く

A げるためにも対策が必要では。ポータル化やチャットボットの活用など手法は検討する。

Q 無償ボランティアは限界。費用弁償に活用できる対応策は。

A 費用弁償等の支出は、見直しにより「活用できるもの」と定められた。

Q グラウンドデザインがどのように反映され、活用されるのか。

A グラウンドデザインは、行政との協働事業を含めたものとして位置付け、地域共生枠（C枠）に活かし、周知を図る。

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1	地域マネージャーの雇用方法の変更	地域説明 雇用支援	開始⇒		
2	コミュニティセンターへのシフト	地域説明 条例改正	開始⇒	指定管理 順次拡大	
3	自治振興交付金の見直し		検討、周知	準備期間	開始⇒
4	まちづくり基本条例、行政区設置規則の見直し		検討	条例、規則 改正(予定)	施行(予定)⇒

報告事項

第2次甲賀市多文化共生推進計画の見直しについて(素案)

甲賀市では、外国人市民の増加を受け、平成22年に国際化推進計画、令和2年に第2次多文化共生推進計画を策定しました。その後、新型コロナウイルスの影響や在留制度改正、滋賀県プラン改定など環境が変化し、外国人市民は4741人（人口の5.4%、令和6年末）となりました。令和6年5月には多文化共生センターを開設し施策を強化しています。計画期間は令和10年度までとし、就労外国人増加への対応、県方針との整合、全庁横断体制の再構築、センターの現場課題反映、成果指標を明確化した実効性ある行動計画へ見直します。令和7年度に検討・素案作成、令和8年度に策定予定です。

Q 企業の協力をさらに求めるべきではないか。

A 企業は、市の施策に協力することは責務と国で定められている。企業に協力いただけるよう、働きかけをいく。

常任 厚生 文教 委員会

活動日誌

- 1月21日 調査 第2次甲賀市小中学校再編計画（基本計画）の策定経過ならびに取組状況について
報告 令和8年度甲賀市学校教育の指針について
国スポ・障スポ 甲賀市開催競技の結果について
朝宮保育園の休園について
令和8年度甲賀市乳幼児教育・保育の指針（案）について
令和8年度国民健康保険税率改定に係る経過報告について
福祉バス運行事業の今後の方向性について 他
- 3月9日 報告 信楽中学校区の学校再編に係る保護者説明会の開催結果について 他

所管事務調査

第2次甲賀市小中学校再編計画（基本計画）の策定経過ならびに取組状況について

現在進められている学校再編計画について、これまでの経緯と進捗状況、今後の進め方を確認しました。

Q 様々な意見が出されている中、市民や関係者の皆様との合意形成が肝心であると考えますが、

A 再編準備委員会を立ち上げ、各地域や保護者の皆さんと丁寧な話し合いながら準備を進めていきたい。

Q 信楽地域のスクールバス運行はどのように検討されているのか。

A 通学への関心は高く、子どもたちの安全を保つためにどのような方法が良いのか色々な事例を研究検討し、来たる準備委員会に示し意見を伺い実施計画を作っていくきたい。

Q 学童保育や終了後の送迎はどうなるのか。

A 学童保育については、新たな小学校近くに設けるべきか、各地域に帰った先にあつた方が良いのか保護者の皆さまのご意見を伺った上で探していきたい。

学校再編問題については委員会内でも議論を重ね、様々な視点で丁寧に取り組んでいかねばならないと考えています。



改築工事が進む信楽小学校

報告事項

令和8年度甲賀市学校教育の指針について

Q 部活動の地域移行が地域連携に修正されているがその理由は。

A 一足飛びに地域移行とはいかず段階的に地域展開を進めたい。

福祉バス運行事業の今後の方向性について

福祉バスの老朽化に伴い事業が廃止となります。事業廃止に伴う代替策として、バス借上料補助が数年間実施されます。

Q 新しい制度では一団体当たり何回補助が受けられるのか。

A 社会福祉団体活動補助金対象団体については上限の範囲内で何度でも使えるが、サロン等地域福祉団体については令和7年度から年1回にさせていただいている。

常任委員 産業建設委員会

活動日誌

- 1月23日 調査 地域計画の状況について
報告 忍者月間事業について
道の駅あいの土山の運営状況について
甲賀地域における『甲賀流公共ライドシェア』の実証運行について
- 3月12日 調査 南土山安定型産業廃棄物最終処分場建設事業について
- 3月24日 調査 民間による安定型産業廃棄物最終処分場の建設計画について
信楽町下朝宮地先の焼却施設の状況について

所管事務調査

地域計画の状況について

- 令和7年末現在の甲賀市における地域計画の取組について調査しました。
- Q 未作成の集落の進捗は。
- A 市街化の進む6集落は作成せず、残り5集落は、現在作成中。
- Q 未利用地に縛りがあり転用もできないが、違う活用方法は。
- A 既に地域計画から外しているところもあり、都市計画部局と調整を行い進める。

民間による安定型産業廃棄物処分場の建設計画について

- 開発申請事業者を参考人として招致し意見聴取を行いました。
- Q この場所の選定理由は。
- A 処分場に適した谷の地形であり新名神に近いアクセスの良さ、土山地域で長く事業を行っていたこと。
- Q 環境学習の面で利用団体への聞き取りは。

- Q A 小学校も含め、聞き取りを行う。市長の意見書の意見の部分の遮水シートの取組については。

- A 現時点では、対応は難しいと考えている。

- Q 展開検査の手法については。
- A 30センチ以内の厚さに敷きならし、目視チェックし、安定型産業廃棄物3種類（廃プラスチック類・ガラス陶器くず・がれき類）以外のものがあれば持ち帰らせる。

- Q 飲料水の心配に対して、水源地や下流域地域にも説明会を行うべき。

- A 日時は確定できないが、説明会開催の検討は行う。

- ※本件を一過性のもものとせず継続的に調査を行う



参考人招致の様子

報告事項

甲賀地域における甲賀流公共ライドシェアの実証運行について

6月補正予算で可決した公共ライドシェアの実証運行は国の許可があり、運行が1月26日開始されました。

都市計画の変更等について

- ・土山町北土山地区
↓第一種住居地域・工業地域
- ・甲賀町鳥居野・大原中地区
↓工業専用地域
- ・水口町北脇地区
↓準工業地域
- ・水口町牛飼地区
↓近隣商業地域

廃プラスチック類のリサイクル方法の転換について

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律により、自治体は再商品化の努力義務が課されました。本市は、再商品化計画を作成し、国の認定を受け、水口テクノスとエコパレット滋賀との連携により再商品化までの処理がされます。

視察報告 総務常任委員会

令和8年1月20日

ゴルフ場を活用したふるさと納税について

兵庫県 三木市

兵庫県三木市は、全国有数のゴルフ場面積を活かし、ふるさと納税10億円を目標に取組を強化されています。直営サイトを多く運営し、DXツールを活用することで少人数でも効率的に事業を展開。



返礼品開発型クラウドファンディングでは手数料も市が負担し、新商品創出を後押しされています。ゴルフ場での紙チケットや現地決済型「関西おでかけ納税」を広げ、観光や周遊促進にもつなげている点は、甲賀市にとって大いに参考となる事例です。

令和8年1月21日

投票区域再編について

広島県 三次市

三次市は平成29年に95投票区から78投票区に再編。その後も人口減少が続き、令和9年4月の県議会議員選から59投票区へと19投票区削減する計画。

投票機会確保のための措置として、新旧投票所間の送迎に加え、自宅からのタクシー券使用による移動支援や、巡回型期日前投票所を見直し、病院などの新たな設置型期日前投票所の増設、加えて高等学校での投票所設置実施を検討するとのことだ。

活動報告 公民連携調査特別委員会

市が推進する公民連携手法の有効性を調査するとともに、現在進行中の事業においてもその手法を用いることの必要性、効率性等の調査を行うために、12月議会において7人の委員による公民連携調査特別委員会を設置しました。設置後、特別委員会では積極的に調査や視察研修を行っています。

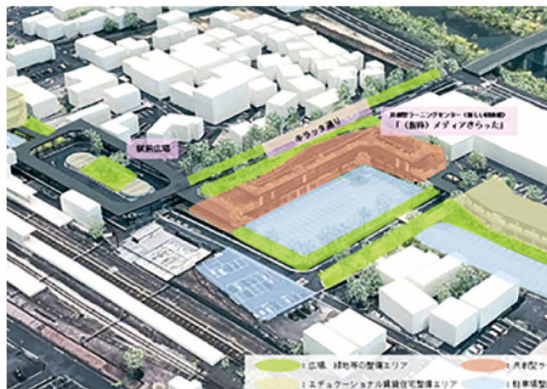
【調査】

公民連携の推進について

1月19日、マネジメント推進室から説明を受け、公民連携に取り組む背景や市の取組について調査しました。市では今年度、元大東市職員の東克宏氏を公民連携アドバイザーとして招き、公民連携に向けた取組を行っています。

貴生川駅周辺整備事業

2月25日、3月4日に南口交流拠点整備事業を中心に公民連携の視点で調査を行いました。本事業については以前から貴生川駅周辺特区構想に基づき進めており、都市構造再編集中支援事業として南口交流拠点整備事業を始めとする様々な事業が計画されています。



イメージ図

【視察研修】

市営住宅建替プロジェクト

「morineki (もりねき)」

大東市では老朽化した市営住宅の建替を公民連携事業として取組まれ、周辺整備と合わせ2021年3月に「morineki (もりねき)」としてオープンしました。

広報広聴委員会

活動報告

まちの声

3分アンケート

(広聴活動)

2月11日に、甲賀市議会広報広聴委員会広聴部会のメンバーで市内大型商業施設の店内をお借りして、「まちの声3分アンケート」を実施しました。これについては、昨年9月に策定した「広報広聴ビジョン」に記載の『幅広い層との対話促進プロジェクト』を体现するための取組で、様々な世代の皆さま、合計125名のお声を伺うことができました。



いただいたお声については、部会内で整理を行い、所管ごとに各常任



委員会で調査や質問に繋げていく予定です。
 主なお声は左記の通りです。また、分野別にまとめた円グラフは、下記の通りです。

【主なお声】

- こどもがのびのびと遊べる場所が欲しい。
- 観光資源があるのに活かしていない。
- 公園の整備を充実させてほしい。
- 買い物・通院のバスが少ない。
- 高齢者医療・介護の充実を図ってほしい。

甲賀市議会アンケート結果

実施日：2026年2月11日(水)
 場所：平和堂 アル・プラザ水口

